

日本加速器学会会員の皆様

第14回年会の第1回サーキュラーをお送りします。

ご確認と周囲の皆様へ周知を、なにとぞよろしくお願い致します。

第14回日本加速器学会年会

第1回サーキュラー

第14回日本加速器学会年会

組織委員長・実行委員長 古坂 道弘

主旨：本年会は、加速器とその応用分野の研究者・技術者が一堂に会して研究・技術の成果発表および情報交換を行い、さらに個々の研究者はもとより研究機関相互の交流および密接な連携を促進する場を提供するものです。2004年の日本加速器学会発足以来、毎夏定期的に開催され、今回で14回目を迎えます。優れた学術的成果の発表のみならず、加速器施設の現場で働く技術者の貴重な経験を共有することで、加速器関連技術の継承と発展を目指します。加速器の応用分野の多様化に加え、専門技術の高度化と細分化が顕著な昨今、本年会の果たす役割がますます重要になってきていることは自明であり、加速器に関わる多くの研究者・技術者の参加を呼びかけるものです。

主催：日本加速器学会

共催：北海道大学大学院工学研究院、北海道大学病院（予定）

後援：北海道、札幌市（予定）

会期：2017年8月1日(火) ～ 3日(木)

7月31日(月)に北海道大学内関連施設の見学会を実施

会場：北海道大学 クラーク会館・学術交流会館（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

JR札幌駅北口より徒歩10分、地下鉄南北線・東豊線さっぽろ駅 徒歩15分

新千歳空港よりJR約40分、バス利用で約80分

URL：<http://www.pasj.jp/dai14kainenkai/index.html>

開催日までの主な予定:

発表申込期限 : **5/15 (月) 24時**

オンライン参加登録期限 : **7/20 (木) 17時**

参加費等事前支払期限 : **7/24 (月) 17時**

プロシーディングス提出期限 : **7/25 (火) 14時**

プログラム : 研究発表 (口頭、ポスター)、特別講演、企業展示

技術研修会 (本年のテーマ「ビーム計測・ビーム制御」) を学会の行事として開催します。

懇親会 : 8月2日(水) キリンビール園本館 中島公園店

(地下鉄南北線 中島公園駅 1番出口 徒歩2分)

施設見学会 : 7月31日(月) 午後

(1) 45MeV電子線形加速器/中性子源

(2) 複合量子ビーム超高圧電子顕微鏡研究室

(3) 北海道大学病院陽子線治療センター (17時以降、要事前登録で最大36名)

見学会は現地集合・解散です。見学のお申込みは事前登録となりますが、(1)と(2)は当日登録でも見学可能です。(3)は最大36名の制限があるため、事前登録者のみとさせていただきます。

参加申込 : 4/1 (土) 11:00 ~ 7/20 (木) 17:00

原則として、事前登録・事前支払いとさせていただきます。ご協力お願いいたします。

参加費支払い: クレジットカードによる支払いと学会指定の銀行への振込をお選びいただけます。

支払い期限は7/24 (月) 17:00 です。

参加費 :

事前支払/当日支払

会員 (一般) 5,000 円 / 6,000 円

会員 (学生) 2,000 円 / 2,500 円

非会員 (一般) 7,000 円 / 8,000 円

非会員 (学生) 4,000 円 / 4,500 円

発表対象 : 加速器とその応用に関すること

発表申込 : 4/1 (土) 11:00 ~ 5/15 (月) 24:00

発表申込時にアブストラクトを提出していただきます。

申込期限厳守でお願い致します。

発表資格：原則として正会員でも名誉会員でもない（以下、非会員と略記）年会参加者の発表は認めません。ただし、以下についてはその限りではありません。

- 学生非会員の発表は認めます。
- 賛助会員の企業の場合は、以下のように会費口数に応じて、または発表費を支払うことにより、非会員の発表を認めます。
 - ・ 5口までは1人、5口を超える分1口につき1人の非会員発表を認めます。
 - ・ 上記会費口数により許される人数以上の非会員発表は、賛助会員または発表者が1人当たり1万円の発表費を支払うことにより、これを認めます。

入会方法：非会員で発表申込みをされる方は、先にご入会をお願いします。会員になって頂くには、学会ホームページ(<http://www.pasj.jp/nyuukai.html>) よりオンラインでお申し込みいただくか、または入会申込書をダウンロード頂き、ご記入後に本サーキュラーの末尾にあります学会事務局宛てにEメールでお送りください。その後、会費の振込書類をお送りさせていただきますので入金をお願い致します。

プロシーディングスと発表スライド提出：事前にWeb 経由でのみ受け付けます。締切りはプロシーディングスに関しては年会開始1週間前の7月25日(火) 14時です。発表スライドファイルは年会開始前日7月29日(土) 17時です。提出期限厳守でお願い致します。

プログラム範疇分け：「電子加速器」、「ハドロン加速器」、「光源加速器」、「ビームダイナミクス・加速器理論」、「加速器技術（粒子源）、（高周波加速構造）、（高周波源）、（電磁石と電源）、（ビーム診断・ビーム制御）、（加速器制御）、（LLRF）、（レーザー）、（真空）」、「加速器応用・産業利用」、「加速器土木・放射線防護」、「革新的加速器技術(の提案)」

注）「革新的加速器技術(の提案)」は前回から新しく設けられた範疇分けです。年会の活性化と、自由な発想をイノベーションにつなげることを目的として、加速器のハード、ソフトだけでなく関連する幅広い研究対象について斬新的・新奇的な研究発表を募集いたします。本発表はポスターセッションとして実施されますが、自由な発想の提案を奨励するため、他の発表に比べて研究が未完であっても許容いたします。経験、年齢、所属を問わずふるってご応募いただけましたら幸いです。

研究発表の形式：発表形式には、一般口頭発表、一般ポスター発表、施設現状報告ポスターの3種類があります。一般口頭発表、一般ポスター発表については、発表申込時にプログラム範疇分けから 第1、第2希望を選択してください（発表申込方法、発表形式の詳細は、第2回サーキュラーでご案内します）。口頭発表のスライドは公開予定です。公開の可・不可については別途おうかがいします。

※日本加速器学会年会賞：学生や博士研究員などの若手研究者を対象として、第14回日本加速器学会年会賞（口頭発表部門、ポスター部門）を設けます。以前に受賞された方は、口頭・ポスターの別にかかわらず受賞対象外です。審査希望者は申込時にエントリーしてください。また、審査の対象となるのは発表内容ですが、期限までのプロシーディングスの提出を審査の条件といたします。なお、受賞者の発表と表彰が行われる閉会式には原則として出席してください。多くの応募をお願いします。

論文形式:

☆アブストラクト：インターネット上の Web で、タイトル・著者・所属と発表内容の概要を事前に提出していただき、プログラム詳細構成決定に利用させていただきます。開催当日には、アブストラクト集を会場受付にて配付致します。アブストラクトは提出締め切り後、準備が出来次第ウェブ上でも公開いたします。

☆プロシーディングス：1つの発表につき 2~5 ページで、和文・英文どちらでも可です。論文のフォーマットは、英文はJACoW 形式で、和文は年会ホームページより最新のテンプレートをダウンロードしてお使いください。

宿泊予約：宿泊施設の予約は各自でお願いします。夏休み期間中のため、札幌周辺のホテルは混みあうことが予想されます。できるだけ早い宿泊予約をお勧めします。

託児所：会場施設内に託児所を開設する予定です。実行委員会で事前準備の必要がありますので、ご利用を予定されている場合は、参加登録ページに設定する該当項目からお早目にお申込みください。

連絡先：日本加速器学会事務局内

第14回日本加速器学会年会 実行委員会事務局 諏訪山

〒116-0013東京都荒川区西日暮里5-9-8 三美印刷株式会社内

TEL : 03-3805-7819 FAX : 03-3805-7688

E-mail: gakkai@kasokuki.com

各組織一覧

○組織委員会

古坂 道弘	組織委員長/北海道大学 工学研究科
池田 伸夫	九州大学 大学院 工学研究院
石井 慶造	東北大学 工学研究科
上坂 充	東京大学 工学系研究科
大垣 英明	京都大学 エネルギー理工学研究所
加藤 政博	分子科学研究所
金澤 光隆	九州国際重粒子線ガン治療センター
上垣外 修一	理化学研究所 加速器基盤研究部
神谷 幸秀	高エネルギー加速器研究機構・高エネルギー加速器科学研究奨励会
川瀬 啓悟	広島大学 放射光科学研究センター
江 偉華	長岡技術科学大学 極限エネルギー密度工学研究センター
江田 茂	九州シンクロトロン光研究センター
小関 忠	高エネルギー加速器研究機構 J-PARC
阪部 周二	京都大学化学研究所
笹 公和	筑波大学
佐々木 茂樹	高輝度光科学研究センター SPring-8
鈴木 良一	産業技術総合研究所
想田 光	群馬大学 重粒子線医学研究センター
高嶋 圭史	あいちSR/名大SRセンター
竹下 英里	神奈川県立がんセンター
田中 俊成	日本大学 量子科学研究所
田中 均	理化学研究所 SACLA
田中 博文	三菱電機
中山 光一	株式会社東芝
野田 耕司	量子科学研究開発機構 放射線医学総合研究所
長谷川 和男	日本原子力研究開発機構 J-PARC
福田 光宏	大阪大学 RCNP
羽鳥 聡	若狭湾エネルギー研究センター
浜 広幸	東北大学 電子光理学研究センター
林崎 規託	東京工業大学 原子炉工学研究所
宮本 修治	兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所
森 義治	京都大学 原子炉実験所

山口 誠哉 高エネルギー加速器研究機構
山田 廣成 立命館大学 卓上放射光源センター
横田 渉 量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所
吉田 陽一 大阪大学 産業科学研究所
鷲尾 方一 早稲田大学 理工学研究所

○プログラム委員会

岩下 芳久 プログラム委員長/京都大学 化学研究所・北海道大学招へい教員
恵郷 博文 高輝度光科学研究センター
奥野 広樹 理化学研究所
帯名 崇 高エネルギー加速器研究機構
柏木 茂 東北大学
加藤 龍好 高エネルギー加速器研究機構
金澤 光隆 九州国際重粒子がん治療センター
神谷 潤一郎 日本原子力研究開発機構 J-PARC
神門 正城 量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所
北川 敦志 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
黒田 隆之助 産業技術総合研究所
佐伯 学行 高エネルギー加速器研究機構
坂上 和之 早稲田大学
坂中 章悟 高エネルギー加速器研究機構
菅野 東明 三菱重工メカトロシステムズ
全 炳俊 京都大学
仙波 智行 株式会社 日立製作所
高雄 勝 高輝度光科学研究センター
谷本 育律 高エネルギー加速器研究機構
陳 栄浩 高エネルギー加速器研究機構
飛山 真理 高エネルギー加速器研究機構
中村 衆 高エネルギー加速器研究機構 J-PARC
芳賀 開一 高エネルギー加速器研究機構
広田 克也 名古屋大学
發知 英明 日本原子力研究開発機構
堀 洋一郎 高エネルギー加速器研究機構
前坂 比呂和 理化学研究所

増田 剛正 高輝度光科学研究センター
松原 雄二 住友重機械工業株式会社
道園 真一郎 高エネルギー加速器研究機構
森下 卓俊 日本原子力研究開発機構 J-PARC
渡邊 環 理化学研究所

○実行委員会

古坂 道弘 実行委員長/北海道大学 工学研究院
西田 浩平 北海道大学 工学研究院・電子線形加速器施設
佐藤 博隆 北海道大学 工学研究院
後藤 雅子 北海道大学 工学研究院
柴山 環樹 北海道大学 工学研究院・超高压電子顕微鏡室
加美山 隆 北海道大学 工学研究院
平賀 富士夫 北海道大学 工学研究院
梅垣 菊男 北海道大学 工学研究院・北海道大学病院陽子線治療センター
藤吉 亮子 北海道大学 工学研究院
岡本 一将 北海道大学 工学研究院
越崎 直人 北海道大学 工学研究院
山内 有二 北海道大学 工学研究院
信太 祐二 北海道大学 工学研究院
富岡 智 北海道大学 工学研究院
及川 俊一 北海道大学 工学研究院
朝倉 清高 北海道大学 触媒化学研究所
奈良林 直 北海道大学 工学研究院
千葉 豪 北海道大学 工学研究院
森 治嗣 北海道大学 工学研究院
坂下 弘人 北海道大学 工学研究院
三輪 修一郎 北海道大学 工学研究院
小崎 完 北海道大学 工学研究院
渡辺 直子 北海道大学 工学研究院
田中 真悟 北海道大学 工学研究院
木野 幸一 産業技術総合研究所、北海道大学工学研究院（客員）

○行事委員会

中村 剛	行事幹事/高輝度光科学研究センター
田中 俊成	広報幹事/日本大学
花木 博文	前行事幹事/高輝度光科学研究センター
菊澤 信宏	予稿集・論文集担当/日本原子力研究開発機構 J-PARC
池沢 英二	会場・企業展示担当/理化学研究所
仲井 浩孝	会場・企業展示担当/高エネルギー加速器研究機構
野田 悦夫	プログラム担当/量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
黒田 隆之助	プログラム担当/産業技術総合研究所
佐藤 政則	年会ウェブ担当/高エネルギー加速器研究機構
紀井 俊輝	年会ウェブ担当/京都大学
古坂 道弘	組織委員長・実行委員長/北海道大学 工学研究科
岩下 芳久	プログラム委員長/京都大学 化学研究所・北海道大学招へい教員
野田 耕司	前組織委員長/量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
北川 敦志	前プログラム委員長/量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
白井 敏之	前実行委員長/量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所